

令和元年度最上町集落応援交付金事業

東法田地区防災講習会のご案内

主催：東法田集落・東法田元気な村づくり協議会

昨年の豪雨で集落内は大きな被害に見舞われました。住宅地の東側の山には大きな崩壊はないものの、大小の沢から大量の土石流が流れ出し住宅や用水路、田畑に多大な被害を受けました。東法田は東側に山裾から杉で覆われ、山を背にしています。数年前に同じく東側の山の山腹の土砂崩れがありましたが、それ以外は大きな崩壊などは起きていませんでした。

そこで、昨年のような豪雨災害が再び起きることを考えた場合に、はたして現在のままで大丈夫なのか、この地に適している木とは何か、また災害に強い山とはどんなものか、ここの地質は雨に強いのかどうかを学びたいと考えてみたいと思います。

日時： 令和元年10月18日(金) 午後7時～9時

場所： 最上町東法田公民館

講演内容：3氏から講演いただきます。

(1) **ふるさと最上町の地形・地質と土砂災害**

柴崎 達也 氏（国土防災技術株式会社 技術本部 試験研究所所長）
博士(理学)、技術士(応用理学部門：地質)、応用地形判読士補
東法田出身、全国の地すべり災害の調査研究業務に従事

(2) **近年の土砂災害の特徴と森林の土砂災害防止機能**

三森 利昭 氏（元森林総合研究所研究評価科長、砂防学会理事）
博士(農学)、専門は砂防学、林学、自然災害科学
農林水産省入省後、昭和57～59年に向町営林署鶉杉担当区
事務所に勤務

(3) **山形県における広葉樹利用の取組み**

佐藤 恒治 氏（元山形県職員、国土防災技術株式会社 山形支店参事）
山形県森林インストラクター会会長、広葉樹を暮らしに活かす山形の会代表

